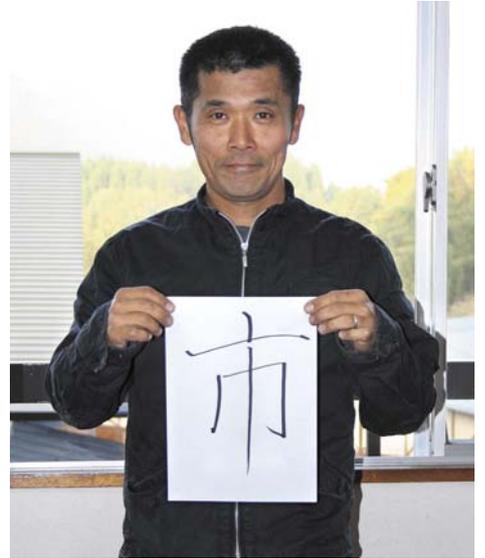


- 市制70周年を迎えて
- 平成22年日田市10大ニュース



日田市は今年で70歳（日田市制70周年記念）



市制70周年を迎えて

日田市制70周年記念

昭和15年12月11日、日田町と三芳・高瀬・光岡・朝日・三花・西有田の1町6か村が合併し、日田市が誕生しました。

あれから70年。今号では、これまでの日田市の足跡をたどり、70周年を記念して行われた行事を紹介します。

ごあいさつ



市制施行から70年、今日に至る輝かしい市勢の発展は、多くの先人の皆様方のお陰であり、改めて深甚なる敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

昭和20年、第3代日田市長である 瀬正雄氏は「文教さかんに、林工さかんに、観光さかんに」というキャッチフレーズで、まちづくりの方針を示しました。その後の歴代市政では、この目指すべき指針が着実に推進され、社会基盤の整備を始め、産業の発展、福祉・教育の充実が図られてきました。

しかし近年、我々を取り巻く社会は、大きな転換期を迎えています。少子高齢化や地球環境問題、そして世界的な大不況による経済の低迷など、社会情勢は厳しさを増しています。

このような転換期である今こそ、産業を盛んにし、本市の財産である自然環境や歴史・文化を守り育て、「水郷日田」「天領日田」「文教日田」の名にふさわしいまちづくりを目指していかなければならないと考えています。市民の皆さんとの協働によるまちづくりを基本に、多くの英知を結集し、更なる日田市発展のため全力でまい進し、本市の将来都市像「人と自然が共生し、やすらぎ・活気・笑顔に満ちた交流都市」の実現を目指していきたいと思えます。

今後とも、一層のご支援ご協力をお願いしますとともに、皆様のご多幸を祈念し、あいさつといたします。

日田市長 佐藤 陽 一



日田市制施行70周年を迎え、心からお慶び申し上げます。

今、70年の歴史を顧みますと、戦後の混乱期、未曾有の大水害、経済の高度成長、公共施設の充実、市民福祉の向上さらには平成の大合併等々、波乱・激動の中を、時には非常な苦しみを味わい、時には前途に心を躍らせながら、着実に前進発展を続けてきました。また、歴史と文化の香り高い「天領日田」「水郷日田」として大きく発展を遂げており、これらを世代から世代へと伝え育んでいかなければなりません。

しかし、本市を取り巻く状況は時代と共に大きく変化し、地域主権改革、少子高齢化社会の進展、高度情報化社会への対応、そして長引く我が国の経済の低迷等々、自治体を取り巻く内外の社会経済環境は、いまだ厳しいものがあります。とりわけ、地方自治体は、自らの創意工夫によるまちづくりを、自己決定、自己責任の下、いかに英知と個性を出していくか、真の力量が問われる時代となります。合併後5年が経過する中、地域の総合力の向上と豊かな地域資源を活用し、独自の歴史・文化・産業などの個性を生かしたまちづくりをなお一層推進していくことが、私たちに課せられた命題であります。

今後とも、活力に満ちた日田市の創造に向けてまい進してまいりますとともに、日田市の限らない発展と、皆様のご健勝を祈り、あいさつといたします。

日田市議会議長 杉野 義光

70年のあゆみ

昭和15年12月に日田市が誕生してから
今日までの日田市の歴史を振り返ります。

昭和

- 15年 12月 日田町と三芳・高瀬・光岡・朝日・三花・西有田の1町6か村が合併し、日田市が誕生
- 16年 1月 市議会議員選挙(第一期)
- 3月 初代市長に首藤今四郎氏就任
- 5月 日田市章・市歌を制定
- 20年 3月 第二代市長に伊東政喜氏就任
- 12月 第三代市長に 瀬正雄氏就任
- 21年 4月 日田男子・女子尋常高等小学校を廃止し、月隈・日隈小学校発足
- 22年 4月 国民学校は小学校となり、4中学校(東・西・南・北部)発足
- 25年 9月 日田市消防団発足
- 7月 耶馬・日田・英彦山国定公園指定

昭和

- 45年 12月 日田市民憲章制定
- 46年 12月 夜明大橋架橋竣工
- 48年 1月 市の花に「アヤメ」を制定
- 51年 11月 国道212号花月バイパス開通
- 53年 2月 日田市中心公民館(文化センター)竣工
- 54年 7月 石井工業団地完成
- 55年 8月 第六代市長に石松安次氏就任
- 11月 市の鳥に「セキレイ(いししたたき)」、市の花木に「さざんか」を制定



平成

- 元年 6月 新日田市立淡窓図書館開館
- 2年 12月 日田市勤労者総合福祉センター完成
- 2年 3月 九州横断自動車道(朝倉〜日田間)開通
- 3年 9月 九州住電装機(株)操業開始
- 8月 日田市新庁舎完成
- 9月 台風17・19号が日田市を襲撃
- 9月 日田市総合体育館完成
- 10月 済生会日田病院開院



平成

- 11年 11月 ウッドコンビナート移転第1号企業操業開始
- 12年 3月 サッポロビール(株)新九州工場操業開始
- 9月 新日田市学校給食センター業務開始
- 10月 豆田地区御幸通りの無電柱化等完成
- 13年 4月 隈まちづくりセンター「黎明館」開館
- 10月 「サテライト日田」設置問題で「まちづくり権」を主張し提訴
- 14年 4月 日田市児童館完成
- 11月 三和酒類(株)日田蒸留所竣工
- 16年 11月 広域農道「スカイファームロードひた」全線開通
- 16年 10月 ごみ指定袋制を開始
- 12月 豆田町が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
- 17年 3月 日田市と前津江村・中津江村・上津江村・大山町・天瀬町の1市2町3村が合併
- 18年 12月 国道210号日田バイパス全線開通
- 4月 生ごみ分別収集開始



- 27年 3月 三隈大橋架橋竣工
- 27年 10月 第四代市長に岩尾精一氏就任
- 28年 12月 日田市庁舎完成
- 30年 3月 日田市と東有田・小野・大鶴・夜明・五和村の5か村が合併
- 31年 3月 国鉄日田線開通
- 31年 10月 玖珠郡玖珠町大字古後字野平の一部を市に編入
- 35年 4月 町内自治会制度発足
- 35年 9月 西部・五和中学校が統合し、三隈中学校創立
- 38年 12月 日田市立淡窓図書館・博物館落成
- 41年 5月 日田市民会館竣工
- 43年 9月 第21回国民体育大会が大分県で開催
- 43年 3月 日田市学校給食センター完成
- 43年 10月 第五代市長に畑英次郎氏就任



- 56年 4月 日田市浄化センター始動
- 57年 10月 TDK(株)三隈川工場操業開始
- 57年 11月 日田玖珠地域産業振興センター完成
- 58年 11月 日田共同葬斎場完成
- 59年 4月 日田駅前広場完成
- 60年 7月 小野川自然プール完成
- 60年 10月 スーパー林道・奥日田グリーンライン全線開通
- 62年 3月 日田市上野浄水場完成
- 62年 4月 国道212号玉川バイパス(日ノ出町〜玉川3丁目)開通
- 63年 7月 蒲江町と姉妹都市締結
- 63年 7月 日田祇園山鉾会館開館
- 63年 7月 天領日田資料館開館

- 12月 日田市役所が環境マネジメントシステム「ISO14001」を審査登録



- 4年 7月 小野民芸村「ことこの里」開村
- 5年 10月 ガランドヤ古墳国史跡に指定
- 5年 12月 国道210号日田バイパス・国道212号バイパス開通
- 7年 3月 九州横断自動車道(日田〜玖珠間)開通
- 7年 5月 小鹿田焼が国の重要無形文化財に指定
- 8年 8月 第七代市長に大石昭忠氏就任
- 8年 3月 日田往還が建設省の「歴史国道」に選定
- 9年 5月 日田市教育センター開所
- 9年 10月 小迫辻原遺跡が国史跡に指定
- 9年 6月 (株)九州コクボ操業開始
- 10年 4月 別府大学日田歴史文化研究センター開所
- 10年 4月 日田市陸上競技場利用開始

- 20年 3月 小鹿田焼の里が国の重要な景観に選定
- 21年 10月 第63回国民体育大会が大分県で開催
- 21年 9月 ひた生活領事館イン福岡リニューアル
- 21年 2月 豆田地区上町通りの無電柱化等完成
- 22年 5月 屋久島町と友好交流協定締結
- 22年 12月 草野家住宅が国の重要文化財に指定
- 22年 10月 咸宜園教育研究センター開館



- 19年 8月 第八代市長に佐藤陽一氏就任
- 19年 10月 日田市チャイルドプラザ開設
- 19年 11月 地底博物館鯛生金山が近代化産業遺産に選定
- 19年 12月 日田市民文化会館「パトリア日田」開館
- 7月 日田市バイオマス資源化センター稼働
- 7月 日田市総合保健福祉センター開設
- 7月 (株)日田ウッドパワー操業開始
- 7月 長福寺本堂が国の重要文化財に指定



日田市市制70周年記念事業

日田市市制70周年記念式典を開催

日田市は今年、市制70周年・合併5周年を迎え、12月5日、日田市市制70周年記念式典がパトリア日田で開催されました。

式典では、毎年文化の日に表彰している市政功労者表彰のほか、市制70周年記念表彰、日田にゆかりのある方などからのビデオメッセージ、市制70周年記念宣言などが行われました。



市政功労者表彰



佐藤 仁藏氏
(76歳・石井町2丁目)
博物館の自然史研究調査と発展に尽くされた功績



南 為三郎氏
(77歳・亀山町)
亀山町自治会長として地域自治の振興に尽くされた功績



中島 仙二氏
(79歳・淡窓1丁目)
淡窓町自治会長として地域自治の振興に尽くされた功績



井上 利男氏
(65歳・夜明中町)
市議会議員として市の振興・発展に尽くされた功績



諫山 洋子氏
(64歳・財津町)
家計調査員を始め各種調査業務に従事された功績



園田 マサ子氏
(82歳・刃連町)
在宅保健師として市の保健事業に貢献された功績



石井 博基氏
(68歳・豆田町)
日田市医師会会長として保健医療の増進に貢献された功績



池永 恵子氏
(74歳・北友田2丁目)
民生委員・児童委員として社会福祉の増進に尽くされた功績



園田 剛氏
(75歳・城町1丁目)
管工事業・水処理事業の分野で技術の向上や後継者育成に尽くされた功績



廣瀬 七郎氏
(74歳・三芳小淵町)
日田市体育協会会長・副会長として競技スポーツの振興に尽くされた功績



市制70周年記念表彰

表彰

各分野で功績のあつた方31名が表彰されました。

特別自治功勞

- 大石 昭忠氏
- 首藤 洋介氏
- 末次 徳嘉氏
- 毛利 鉄也氏
- 長 重信氏
- 諫山 康雄氏
- 室原 基樹氏
- 諫山 洋介氏
- 中野 靖隆氏
- 日高 勲氏
- 高村 守氏
- 佐竹 利雄氏
- 高瀬 剛氏
- 産業功勞
- 森山 有男氏
- 野田 昌利氏
- 安心院 剛氏
- 菅原 義博氏
- 井上 守人氏

教育文化功勞

- 岩澤 有徑氏
- 中島 主税氏
- 石松 博氏
- 大藏 昭七氏

厚生環境功勞

- 吉田 厚子氏

消防防災功勞

- 中島 禎治氏
- 高山 英二氏
- 佐藤 博恭氏
- 中元 認氏
- 嶋崎 保長氏
- 安達 豊彦氏
- 林 保博氏
- 松原 六朗氏



感謝状

各分野で市に貢献された方177名3団体に感謝状が贈呈されました。

市議会議員

- 故 梶原 明治氏
- 故 園田 敏道氏
- 高村 守氏
- 諫山 洋介氏
- 井上 利男氏
- 草野 圭次氏
- 大谷 敏彰氏
- 川崎 邦輔氏
- 大久保 征雄氏
- 赤星 仁一郎氏
- 嶋崎 健二氏
- 矢野 美智子氏
- 吉田 恒光氏
- 石橋 邦彦氏
- 日隈 知重氏
- 行政委員(選挙管理委員、公平委員、情報公開・個人情報審査会委員、農業委員)
- 江田 智氏
- 和合 進氏

自治会長

- 合谷 幸生氏
- 山口 由記氏
- 小関 力藏氏
- 一木 俊廣氏
- 諫山 洋介氏
- 野田 勝則氏
- 東 保雄氏
- 森山 有男氏
- 小山 一善氏
- 本川 角重氏
- 綾垣 弘氏
- 石井 善三氏
- 長谷部 勲氏
- 川良 眞二氏
- 梶原 佑一氏
- 故 清水 義一氏
- 平 東洋和氏
- 武原 良雄氏
- 中元 認氏
- 川津 篤一氏
- 河津 康雄氏
- 安藤 義光氏
- 岩下 正勝氏
- 梅木 昌一氏
- 梶原 知人氏
- 吉田 連藏氏
- 佐々木 美徳氏
- 石井 春男氏
- 久保 正文氏
- 故 原田 茂彦氏
- 大島 三明氏
- 安岡 敏雄氏
- 故 加藤 和夫氏
- 後藤 高明氏
- 田中 喜久治氏
- 穴井 大藏氏
- 佐藤 恒雄氏
- 佐藤 孝清氏
- 故 濱田 昌澄氏
- 唐原 靖文氏
- 守山 知之氏
- 日高 数馬氏
- 梅山 好氏
- 浅海 岬氏
- 吉田 龍介氏
- 中島 経男氏
- 故 大東 由雄氏
- 宇野 邦男氏
- 熊井 永美氏
- 諫本 信義氏
- 河野 宗臣氏
- 末武 良己氏
- 高橋 巧氏

消防団員

坂本 章氏
河津 明雄氏
川津 保夫氏
長谷部 重人氏
伊藤 勝治氏
久野 義一氏
日隈 嚴氏
高木 望氏
佐藤 武士氏
高木 孝一氏
江田 近氏
諫山 泰造氏
原田 琢也氏
上野 喜一氏
宮崎 和徳氏
平岡 敏彦氏
冷川 睦男氏
佐藤 則生氏
小田 弘行氏
石田 安信氏
日高 哲男氏
綾垣 新市氏
横尾 隆弘氏
高尾 貞雄氏
長尾 正氏
古澤 厚美氏

川津 靖幸氏
後藤 則男氏
平野 嘉成氏
足達 勲氏
小関 豊次氏
江田 頼光氏
山口 美喜男氏
嶋崎 享二氏
宮木 俊二氏
河津 辰己氏
熊谷 健一氏
梶原 豊三郎氏
中嶋 豊喜氏
中島 哲男氏
櫻木 健児氏
佐藤 実氏
梶原 吉久氏
諫山 茂樹氏
佐藤 道文氏
高倉 秀美氏
中野 文男氏
川村 俊晴氏
高瀬 重光氏
松野 雄一氏
早川 宏明氏
平嶋 義人氏
竹井 信之氏

立花 好治氏
佐藤 徳市氏
佐藤 昌治氏
本野 廣明氏
井上 眞吾氏
日高 憲光氏
高倉 稔氏
石川 國弘氏
平嶋 政己氏
江藤 久男氏
木薙 敏明氏
樋口 勝氏
吉田 恒光氏
熊谷 清次氏
遠坂 洋行氏
江田 健四郎氏
清水 亀男氏
佐藤 篤氏
佐藤 純郎氏
林 啓一郎氏
梶原 孝義氏
前 優一氏
古閑 広己氏
白石 弘喜氏
河津 富生氏
河津 誠市氏
川村 陽一郎氏

竹村 盛男氏
井上 武久氏
小野 敏郎氏
小野 信一氏
武原 外弦氏
古閑 祐一氏
佐藤 智己氏
家下 靖氏
佐藤 誠一氏



地域社会寄与者・団体

高齢者住宅環境整備ボランティア会

たかせ杉の子パトロール隊

交通指導員

森 英一氏
上原 邦敏氏
井上 孝氏
河津 朝彦氏
長谷部 重人氏

市政功労団体

日田文化連絡会



長谷部 篤氏
片桐 清憲氏
藤川 俊二氏
川村 陽一郎氏
河津 次男氏
穴井 邦彦氏
梶原 直美氏
川津 利正氏
少年指導員・補導員（少年警察ボランティア）
安心院 正之氏
梶原 總吉氏
佐藤 文夫氏
梶原 償子氏
限のまちづくり委員会
員長 石松 博氏



秋の叙勲

11月3日、国家や公共のために功績のあった方に贈られる、秋の叙勲の受章者が発表されました。

旭日双光章

地方自治に尽くされた功績



北村 益郁氏
(79歳・高瀬本町)

瑞宝双光章

更生保護に尽くされた功績



古賀 正夫氏
(72歳・南友田町)

瑞宝单光章

消防に尽くされた功績



和合 進氏
(71歳・上城内町)



高畑 龍之助氏
(70歳・上津江町)



知事表彰

永年にわたり、地方自治や社会福祉保健、社会教育関係、学校安全の分野で功績のあった方々が表彰されました。

県功労者表彰

地方自治に尽くされた功績



佐竹 利雄氏
(66歳・中本町)

教育功労者表彰

社会教育に尽くされた功績



石松 博氏
(85歳・亀山町)

社会福祉保健に尽くされた功績



原 正隆氏
(79歳・三本松2丁目)

学校安全に尽くされた功績



たかせ杉の子パトロール隊
(高瀬地区)



70周年を記念して

日田市制70周年記念事業

日田市が誕生して70周年、市町村合併で新しい日田市となって5周年を迎える今年は、市民が参加して楽しめるもの、日田市の情報発信ができるものなど、様々な記念事業が行われました。

ここでは、記念式典以外に行われたイベントや行事を紹介します。

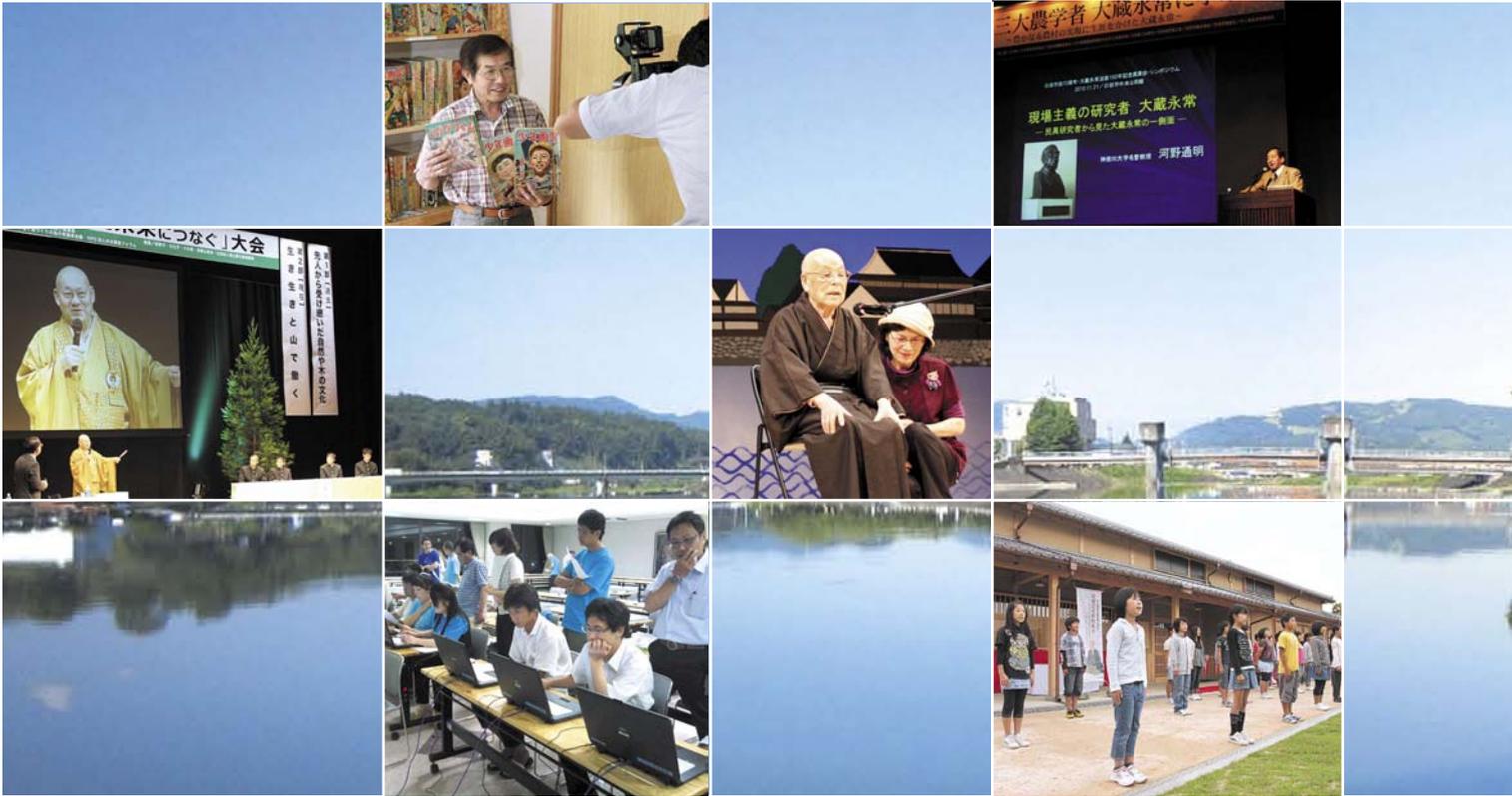


1・2 日田市の宝を再発見し、まちづくり、地域振興に結び付ける「ひた宝さがしプロジェクト」始動

3・4 日田のグルメを集めた食の祭典で地場産品をPR

5 咸宜園教育研究センターのオープンを記念したセレモニーや講演会、シンポジウム開催





- 6 NHK公開番組「BS日本のうた」の公開収録
- 7 日田市出身の農学者である大蔵永常のシンポジウム開催や大蔵永常先哲書普及版発行
- 8 文化遺産を未来につなぐ森づくりのための有識者会議との共催でシンポジウム開催
- 9 市町村合併以前の旧町村で未完結だった「大山町史」と「前津江村史」の未編さん期間の町史・村史を作成
- 10 日田を代表する民謡コツコツ節の日本一を決めるコンテストで日本一に輝いた岩阪くみこさん（大分市）



平成22年

日田市

10大ニュース

今年も残りあとわずかとなりました。皆さんにとって平成22年は、どのような年でしたか？

「広報ひた」では、今年1年の日田市の主な出来事を10大ニュースとしてまとめました。1年を振り返りながらご覧ください。



市制70周年記念式典

◆4月～ 日田市・日田商工会議所・日田市自治会連合会が節目の年

日田市制70周年・合併5周年、日田商工会議所創立70周年、日田市自治会制度発足50周年と、今年は節目の年となり、記念式典や様々なイベントが行われた。



ツコツ節日本一大会(市制70周年記念事業)



ふるさと日田大屋台村
(市制70周年・商工会議所創立70周年記念事業)



全国自治会連合会大分日田大会交歓会
(自治会制度発足50周年記念事業)



自治会制度発足50周年記念式典



◆ 4月 公共交通の整備

4月1日から新しい市内循環バス「ひたはしり1号・2号」が運行を開始したほか、JR大鶴駅と夜明駅の駅舎改築工事が完了し、市内の公共交通の整備が行われた。



◆ 4月 求来里地区ほ場整備竣工

平成12年度から21年度まで、10年の歳月をかけた求来里地区のほ場整備事業（20.9ha）が竣工した。これにより、農地の区画や道路、用排水路が総合的に整備され、効率的で安定的な集落営農が可能になった。



◆ 5～7月 市民の憩いの場 リニューアル

中心市街地や地域の憩いの場にぎわいの場の創出を目的に、中央公園、庄手川公園の整備が行われた。また、張芝による安心した利用やスポーツ振興を目的に、萩尾公園がリニューアルされた。



◆ 3・10月 日田の物産・食をPR

日田の物産や食をPRするため、3月に福岡市で「天領のまち 大丸・日田展」が、10月には中央公園で「絶品グルメ！ふるさと日田大屋台村」、神奈川県相模原市で「九州ひたフェア」が開催され、連日多くの人々が訪れた。



大丸・日田展（福岡市）



九州ひたフェア（相模原市）



柚木小学校閉校式



静修・夜明小学校確認書調印式



赤石小学校曾家分校確認書調印式

◆ 3・10月 教育環境を整備

3月に柚木小学校が閉校し、福岡県うきは市（姫治小学校）に教育事務が委託されることになった。また、3月と10月には、静修小学校と夜明小学校の統合と、赤石小学校曾家分校の赤石小学校への統合に係る確認書の調印式がそれぞれ行われた。

◆ 10月 咸宜園教育研究センターオープン

10月2日、瀬淡窓と咸宜園研究の基幹施設となる咸宜園教育研究センターがオープン。今後は、瀬淡窓や咸宜園教育の研究を進めながら、その研究結果を市内外に広く公開し、世界遺産登録に向けた活動拠点としても活用される。



センター内展示室



咸宜園教育研究センター



シンポジウム「森と文化を未来につなぐ」大会

◆7・11月 全国に林業の重要性を発信

7月に「次世代林業九州サミット会議」が、11月にはシンポジウム「森と文化を未来につなぐ」大会が開催された。多くの林業関係者等が集まり、林業のまち日田から、文化財を次世代につなぐ必要性や林業・木材産業の重要性などを全国に発信した。



次世代林業九州サミット会議（視察）

◆11月 皇太子殿下ご来訪

11月13日、皇太子殿下が日田市をご来訪し、いいちこ日田蒸留所や咸宜園、天領まつりでにぎわう豆田の町並みをご視察された。



咸宜園「秋風庵」をご視察



写真左から、日田市長、大分県知事、内田恒二キャノン株式会社代表取締役社長、坂下喜一郎日田キャノンマテリアル株式会社代表取締役社長

◆12月 日田キャノンマテリアル株式会社
工事着工を決定

12月2日、キャノン株式会社は、延期していた日田キャノンマテリアル株式会社の工場建設（三ノ宮地域）を平成23年6月に着工し、平成24年5月に操業を開始することを発表した。





矢野 シノブさん (中津江村栃野)

今号では、主婦業の傍ら、趣味である手芸を生かして、教室を開いている矢野さんを紹介します。

—手芸を始めたきっかけは—

小さいときから、縫い物をする母を見て、私も見よう見まねで編み物をしたり、布を切っては自己流でお人形の服やお布団を作ったりして遊ぶのが大好きでした。分からないことを尋ねると、母が面倒がらず、優

しく教えてくれたことも理由の一つかもしれません。今思うと、布と糸とはさみは、そのときから友達でした。

上津江から中津江に嫁いできたころ、中津江の公民館の編み物教室に通い始め、編み物を習得しました。それからパッチワーク、着付け、絵画教室と次々とやってみてみたいことへの挑戦が続き、現在でもこれらをつこつと続けています。

「布と糸とはさみは、子どものころから友達」



—教室を始めたきっかけは—

3年ほど前、社会福祉協議会の方から「絵手紙の講師をお願いしたい」と頼まれ、私でも何かお手伝いできることがあればと引き受けることにしました。

中津江村内の老人福祉施設で高齢者の方を対象に絵手紙教室を、上津江公民館でも編み物教室、パッチワーク教室を始め、いろいろな人へ手芸の楽しさを教えています。

教室では、いろいろな発見があります。絵手紙教室の生徒さんの一人は、始めは、はがきの枠の中に小さく描いていたのですが、紙の大きさや材質を変えるなどの工夫をしてみると、徐々に、はがきいっぱいになり、積極的に参加するようになったんです。

す。いろいろな人たちと出会うことができて、教室をやって良かったと思います。

—これからの目標は—

最近、和紙人形作り、ペーパークラフト(紙細工)に興味が出てきました。細かな作業が多いのですが、難しいことにこそチャレンジしたくなり、それをクリアすると、また次の創作意欲がわいてくるんです。

私は、作品を売るとかギャラリを開くとか、そんなことは考えていません。今までの作品も、親しい方へプレゼントするくらいで、その方が喜んでもらえることがうれしいんですよ。

とにかく今は「何かをつくる」ということが楽しく、これからもどんどんチャレンジしていくつもりです。そして、これからもたくさん作品を作り、また、いろいろな場所で、作品を通して出会いや交流をもっと深めていきたいと思っています。

「自宅にあるたくさん作品は、どれも思い入れのあるものばかり」と話す矢野さんの表情は、生き生きと輝いています。

矢野さんは、これからも、布や紙などから生まれる作品たちと一緒に、いろいろな人と出会い、交流を深めていきます。

ふるさとの材料にこだわって

「ふれあいの里きじや」(上津江町)

上津江町の「ふれあいの里きじや」は、昔ながらの作り方にこだわった手作りのみそを作っているグループです。

平成17年、それまで活動していた生活改善グループや婦人会が解散し、このままでは地域が寂しくなる、少しでも地域の活性化のために何かしたいと、代表である早川澄代さんを中心に地域の女性で結成し、5年目を迎えます。

メンバーがこだわって作るみそは、原料のほとんどに津江産の大豆や米、麦などを使い、麴から手作りしています。出来上がったみその味は好評で、一度食べた方が味を気に入り、また送ってくれと頼まれることも多



地元で開催する産業文化祭にも参加

くあります。

また、皆さんにみそ作りの楽しさを知ってもらうため、毎年6月ごろにみそ作り体験も行っています。

早川さんは「みその仕込み(味噌つき)は年に6回程度行いますが、1回の仕込みに4日掛かり、メンバーがなかなか集まらないのが悩みの種。また、保存料などの添加物を一切使用しないため、その年の天候で発酵具合が変わることもあり、気を使います。みそ作りは苦勞も多いですが、これからも地元で取れた材料にこだわって、皆さんが喜ぶようなみそを作っていきたいです」と話してくれました。



ふれあいの里きじやの皆さん

まちのヒーロー！消防団⑮



日田方面団 夜明分団

夜明分団は、35人で夜明上・中・関町の3町を管轄しています。

この度、夜明関町の高台にある上地域に防火水槽が完成しました。分団員はもちろん、本部や近隣分団に給水を協力していただき、水源地から約1400メートルの距離を、消防用ホース約35本を使用して行いました。

ところで、調理をしているときに電話が掛かり、台所を離れて鍋などを焦がした経験はないですか。分団員がこの時間帯に電話を掛けるときに、主婦の方が電話に出た際には、「ガスコンロに火は付けていませんか。火を消してください」との声掛け運動を行っています。空気が乾燥し、火災が発生しやすくなるこの時期、火の取扱いは十分注意しましょう。

大山方面団 第8分団

私たち大山方面団第8分団は、鎌手、小五馬、柚木、下釣、中津尾、上野の6地域(185戸)を管轄し、活動しています。

消防団員の減少で、以前は30人いた団員数も21人になりました。しかし、分団では、一致団結して地域防災に努め、積載車や機械器具の点検、防火水槽や消火栓の点検等のほか、大山地区防災訓練、夏季訓練、巡回パトロール、連結送水訓練、年末特別警戒、春季全国火災予防運動による巡回パトロール等の訓練を行っています。

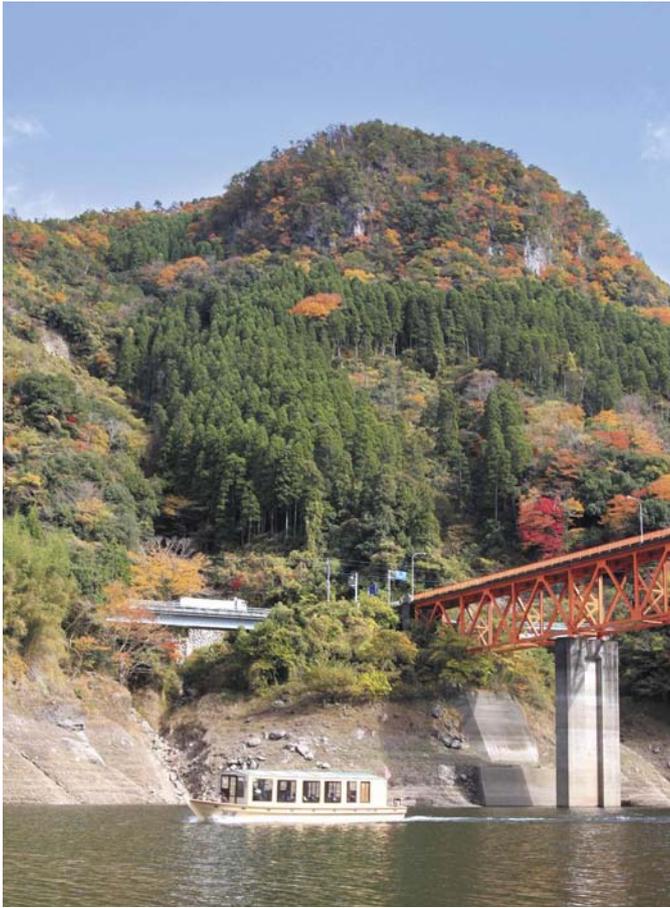
これからも地域の皆さんのご協力をいただきながら、分団員全員で協力し活動していきます。



出初め式に向けた訓練



毎月の機械器具の点検にも余念がありません



雄 大な景色の中を遊覧

遊覧船「遊湖」の運航開始に合わせ、11月16日、松原ダム湖で試乗会が行われた。

「遊湖」は、地元住民で作る(有)松原ダム遊覧観光（松原國勝代表取締役）が、松原ダムを地域活性化のために活用しようと、平成17年から運営している。

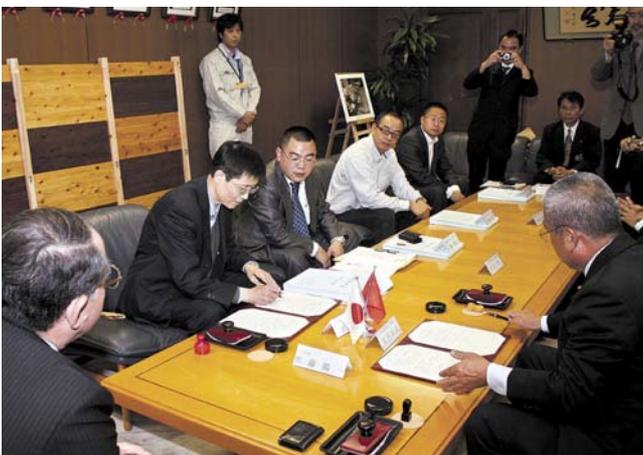
晴天に恵まれたこの日、一般客を乗せた「遊湖」は、見ごろを迎えた紅葉を背景に、湖を遊覧した。

運行期間は、来年5月初旬までの予定。

新 たな市場開拓を目指して

日田材の新たな市場開拓を目指して、日田木材協同組合と上海木材行業協会が協定を結ぶことになり、11月12日、市役所で調印式が行われた。

協定書には、日田木材協同組合が行う中国での木材販売に対して、上海木材行業協会が情報提供や助言等を行うことなどが記され、立会いを務めた市長は「日田の木材産業の活性化のため、上海の皆さんとの友好的取引に期待しています」と話した。



ゆるキャラ「たんそうさん」

11月12日、咸宜園を開塾した廣瀬淡窓のゆるキャラ「たんそうさん」が完成し、咸宜園教育研究センターで披露された。

たんそうさんは、観光イベントなどで日田市のPRに一役買ってもらおうと、(社)日田市観光協会が制作したもの。この日、千年あかりの自作パンフレット配分で訪れていた咸宜小学校の児童たちは、愛きょうたっぷりのたんそうさんを見付け、歓声を上げていた。



米の消費拡大を

日本の食料自給率向上に国産の米粉利用が注目される中、米の消費拡大を目指した取組として、11月17日、中央公民館で米粉料理教室が行われた。

15人が参加した教室では、大分市から米粉インストラクター3人が招かれ、米粉を使ったニョッキスープ、焼き餅、チョコレートマフィンの3品を製作。参加者の中には初めて米粉に触れる人も多く、お菓子作り等にも幅広く利用できる米粉の調理法を学んだ。



災害に対する備えを

11月13日、中央公民館で、大分県地震減災・災害時要援護者対策講演会が行われた。

大分県と日田市が共催で行ったこの講演会では、講師である芦屋市防災安全課危機管理担当課長の今石佳太さん、山口大学人文学部教授の横田尚俊さんが、いつ発生するか分からない地震や災害に対する備え、災害時に援護が必要な方への対応などについて話し、地域防災力の向上を呼び掛けた。

今年もやっぱりNPC

11月21日、大山文化センター周辺で「大山NPCまつり」が開催された。

今年で51回目を迎える祭りでは、農産物や加工品の品評会や即売、小・中学生の作品展示など、たくさんの催しが行われた。

また、ステージでは、藤蔭高校プラスバンド部、天領ひた城町ひよっこ連、鎌手小学校烏宿太鼓が演奏や踊りを披露し、訪れた人たちを楽しませた。



往時をしのびながら歩く

11月21日、大分県の史跡に指定されている石坂石畳道（市ノ瀬町～伏木町）を歩く、第13回日田往還「石坂石畳道」ウォーキング大会が開催され、約250人が参加した。

参加者は、出発前に日田市文化財保護員の野田 巳さんから石坂石畳道の歴史を学んだ後、出発。快晴の下、歴史ある石畳を一步一步踏みしめながらウォーキングを楽しんだ。



今月は、
固定資産税・都市計画税 第4期
国民健康保険税 第6期
介護保険料 第6期
 の納付月です。
 納期内の納付をお願いします。

日田市名誉市民

井上不二雄さん逝く



11月29日、日田市名誉市民である井上不二雄さんが96歳で逝去されました。

井上さんは、大正3年、日田郡上津江村に生まれ、昭和17年に日田郡上津江村助役に就任後、昭和28年からは上津江村長として活躍されました。

また、昭和38年から4期16年にわたり大分県議会議員として活躍し、昭和53年から54年までは大分県議会議長を務められました。

地方自治に貢献された功績により、平成7年には上津江村名誉村民として、平成17年に合併した後は、日田市名誉市民として顕彰されました。生前のご功績をしのび、故人のご冥福をお祈りいたします。

お知らせ

年末年始休暇のお知らせ

市役所・各振興局・各振興センター
 ■閉庁日 12月29日(水)〜平成23年1月3日(月)
 ■休業日 平成23年1月1日(祝)
 ※休業日は火葬業務、告別室(葬儀)、霊安室、市霊きゆう車の利用ができません。

市民課窓口サービス係
 ☎8204 (市役所1階) 葬斎場 ☎4404

年末年始の業務

年末年始の各種証明書の交付
 閉庁期間中に住民票、印鑑証明、納税証明、所得証明が必要な方は、12月28日午後5時までに市役所又は各振興局に電話で予約してください。

なお、戸籍全部事項証明(戸籍謄本)・戸籍個人事項証明(戸籍抄本)等の交付及び転入、転出等の住民異動届については休暇中の取扱いができませんので、12月28日までに手続を済ませてください。
 予約した各種証明書は、閉庁期間中の午前8時30分から午後5時までに市役所又は各振興局の日直が交付します。

※午後5時以降は対応できません。

※予約の際は、証明書の交付を受ける場所をあらかじめ指定してください。

※証明書の発行手数料は、お釣りが出ないようにお願いします。

※代理人が窓口に来る場合は、委任状が必要です。

※交付には窓口に来た方の本人確認が必要ですので、運転免許証、保険証、パスポート等を持参してください。
 ※各振興センター及び各出張所では、交付できません。

年末年始の戸籍の届出

死亡届は、火葬許可証等の交付が必要になりますので、午前8時30分から午後5時までに市役所又は各振興局で届出を行ってください。
 出生、婚姻等の届出は、次のとおり受け付けます。

■午前8時30分〜午後5時

市役所又は各振興局の日直が、窓口で受付をします。

■午後5時〜翌朝の午前8時30分

・市役所 警備室(市役所の北側玄関入口)で届書をお預かりします。(死亡届を除く)

・各振興局 玄関付近に受付箱を設置していますので注

意事項を確認の上、投函してください。(死亡届を除く)

※各振興センター及び各出張所では、受付ができません。

市民課窓口サービス係

☎8204 (市役所1階) 税務課税制窓口係

☎8397 (市役所1階) 天瀬振興局 ☎8204

大山振興局 ☎3101 前津江振興局 ☎3211

中津江振興局 ☎3111 上津江振興局 ☎5201

業務

12月29日(水)・30日(木) 午前9時〜午後3時

税務課納税係

☎8205 (市役所1階) 水道課管理係

☎8220 (市役所5階)

住宅用火災警報器の設置はお早めに

消防法の改正で、平成18年から一般住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、既存住宅は、平成23年5月31日までの設置を呼び掛けています。警報器を設置しないことで罰せられることはありませんが、大切な命や財産を火災から守るため、設置期限を待つことなく、早期の設置をお願いします。

日田消防署予防係 ☎2204

インターネット

公売物件下見会

■とき 平成23年1月13日(木) 午前10時〜午後4時

ところ

市役所1階101会議室

■公売予定物件 つぼ、反物等

※公売物件は変更することがあります。

■申込方法 次のホームページから申込み

《ホームページ》
<http://koubauctions.yahoo.co.jp/>

※公売する動産を直接確認できるのは、下見会のみになります。また、公売物件は変更することがあります。

税務課納税係 ☎8205 (市役所1階)

平成23年度の固定資産税・都市計画税の課税のため、平成22年中に取り壊した家屋の確認を行っています。該当する方は、平成23年度の税額が変更になる場合がありますので、必ず連絡をお願いします。

税務課資産係 ☎8206 (市役所1階)

税務課資産係 ☎8206 (市役所1階)

文化財の防犯対策を

全国的に仏像などの文化財の盗難の被害が相次いでいます。特に、無任の寺社などでの盗難の危険性が高く、特段の注意が必要です。

見回りの徹底や施設設備など、定期的な点検・確認を実施しましょう。

※被害に遭った場合は、日田警察署及び左記に連絡してください。

問 文化財保護課文化財管理係
☎ 7171 (埋蔵文化財センター内)

市有不動産の公売

■公売物件・所在地等

憩いの家跡(土地・建物)
・所在 大山町西大山字堂ノ本3555番

・地目 宅地
・地積 406.08㎡(実測)
・建物床面積 144.94㎡

■入札方法 一般競争入札
■最低売却価格 551万5000円

■入札参加資格
・個人及び法人で、市税等を完納している方
・成年被後見人、被保佐人、被補助人以外の方等

■入札日・入札場所
平成23年1月13日(木)

午前10時

市役所3階303会議室
■入札参加申込期間・申込先
12月17日(金)～24日(金)

市役所4階総務課管財係
現地説明会を実施
■とき・集合場所
平成23年1月6日(木)
午前10時

市役所3階302会議室
※入札には、入札保証金(入札金額の100分の5以上)が必要です。

※詳細は、市ホームページをご覧ください。

問 総務課管財係
☎ 8215 (市役所4階)

製造事業者の方へ 平成22年工業統計調査にご協力を

工業統計調査は、製造業の実態を明らかにするため、全国の製造業の事業所を対象に平成22年12月31日現在で行うものです。

対象となる事業所には、12月から平成23年1月にかけて調査員が伺いますので、ご協力をお願いします。

※調査票の記載内容は、秘密が厳守されます。

問 企画課男女共同参画推進・統計係
☎ 8227 (市役所4階)

保健・福祉

在宅介護者の集い

■とき
平成23年1月11日(火)
午後1時～3時30分

■ところ
市役所3階302会議室

■対象
在宅で認知症の方を介護している家族や介護者等

■内容 認知症関連事業の状況説明、意見交換など

■参加費 無料

■申込方法
事前に電話で申込み

■申込期限
平成23年1月7日(金)

問 社会福祉課高齢者福祉係
☎ 8299 (市役所1階)

献血にご協力を

■とき・ところ
日田すいめいライオンズクラブ主催
12月23日(祝)
午前10時～午後4時
ダイエー日田店

※3日以内に葉(漢方薬、健胃薬を除く)を服用された方、70歳以上の方は献血できません。
※献血カードを持参してください。カードを持っていない方は、受付時に本人確認を行いますので、免許証、保険証などを持参してください。

■申請期限
平成23年4月30日(日)

問 社会保険課国保・年金係
☎ 8271 (市役所1階)

募 集

平成23年度
「均等・両立推進企業表彰」
対象企業を募集

厚生労働省では、女性労働者の能力発揮を促進するための積極的な取組(ポジティブ・アクション)及び仕事と育児・介護との両立支援のための取組を推進している企業を対象に、「均等・両立推進企業表彰」を実施しています。

■申込期間
平成23年1月1日(祝)～3月31日(木)

※申込方法など詳細は、お問い合わせください。

問 大分労働局雇用均等室
☎ 0975324025

■助成内容 インフルエンザ予防接種に係る費用を医療機関に支払った場合、一人1000円(1回のみ)を助成

■申請に必要なもの 印鑑、世帯主の口座番号、保険証、領収書

■申請方法 下記又は各振興局、各振興センターに備付けの請求書に必要事項を記入の上、領収書(写し)を添付し申請

次回は
広報 した
1月1日号
12月28日(火)に発送します。



■入居を募集する住宅

地区	住宅名	空家戸数	摘要
朝日	朝日ヶ丘団地	1	シルバーハウジング
三芳	桃山団地	6	一般向け
		1	高齢者向け
	刃連町住宅 (旧雇用促進住宅)	15	一般向け
		1	車いす専用※
天瀬	戸ノ上住宅	1	一般向け
		1	一般向け
	下の釣住宅	1	特公賃

※車いす使用者が入居することが条件です。

車いす使用の高齢者・障がい者は、単身で申込みできます。

(身体上又は精神上著しい障がいがあるため常時の介護を必要とする方で、常時在宅介護を受けることができない方を除く)

市営住宅 入居者臨時募集

■入居資格 次のすべてに該当する方(既に公営住宅に入居している方、本人及び家族に暴力団員がいる方は申込み不可)

- ①特に住宅に困っている方(持ち家のある方は申込み不可)
- ②市税等の滞納がなく、これまで市営住宅の明渡し請

求を受けたことがない方が収入が基準額を超えない方(世帯全員の所得合計額から控除額を差し引いた金額が189万6000円以下)

④同居の親族がいる方

※基準額は、世帯の状況や障がい程度に応じて異なります。また、次の住宅は、別に収入基準があります。

・特定公共賃貸住宅(特公賃)

189万6000円以上

310万8000円以下

・刃連町住宅(旧雇用促進住宅) 240万円以下

※刃連町住宅は、収入による家賃変動はなく、定額です。

1〜3階 3万5000円

4〜5階 3万1500円

シルバーハウジングへの申込み

上記①〜③に加えて次のいずれかに該当する方

⑤単身の高齢者(60歳以上)又は高齢者夫婦(いずれかが60歳以上)のみの世帯

⑥単身の障がい者又は障がい者のみからなる世帯、若しくは障がい者とその配偶者のみからなる世帯

⑦障がい者と高齢者(60歳以上)又は障がい者と高齢者夫婦(いずれかが60歳以上)のみからなる世帯

■公開抽選日・場所

平成23年1月21日(金)

午前9時30分〜

市役所7階中会議室

■申込方法 左記に備付けの申込用紙で申込み

■申込期限

12月28日(火) 午後5時

■建築住宅課住宅係

☎82218 (市役所5階)

天瀬振興局産業建設課

☎82208

初級パソコン講座受講者募集

■対象者 市内在住で、おおむね60歳以上の方

■講座内容 キーボード操作及びメール、インターネットの使い方

■募集数 各15人(先着順)

■とき・ところ

とき	ところ	とき	ところ
1月11日(火)~15日(土)	上津江振興局	2月21日(月)~25日(金)	中央公民館
1月17日(月)~21日(金)	中津江振興局	2月28日(月)~3月4日(金)	"
1月24日(月)~28日(金)	前津江振興局	3月7日(月)~11日(金)	"
1月31日(月)~2月4日(金)	大山振興局	3月14日(月)~18日(金)	"
2月14日(月)~18日(金)	天瀬振興局	3月22日(火)~26日(土)	"

※時間はいずれも午後1時30分~3時30分

■参加費 無料

■持参するもの 筆記用具 ※パソコン等の機器は、市で準備します。

■申込方法 電話で申込み

☎82229 (市役所6階)

平成22年度

別府大学日田歴史文化講座

■とき 平成23年1月22日(土)~3月5日(土)までの、2月

26日を除く土曜日(6回) 午後1時30分~3時

■ところ

別府大学日田歴史文化研究センター(田島2丁目)

■テーマ 「日本最大の私塾咸宜園とその関連遺産を歩く」

■募集数 約60人

■参加費 2000円(高校生以下無料)

■申込方法

はがきに、住所、氏名、年齢を記入の上、申込み

■申込先 〒8770025

田島2丁目2285

別府大学日田歴史文化研究センター

■申込期限 12月30日(木)

別府大学日田歴史文化研究センター ☎7344

文化財保護課文化財管理係

☎7171 (埋蔵文化財センター内)

☎7171 (埋蔵文化財センター内)

たけのこ栽培現地研修会参加者・竹粉生ゴミ処理モニター募集

たけのこ栽培現地研修会

■とき

平成23年1月中旬ごろ

■ところ

日田市、玖珠郡(予定)

■研修内容 たけのこ栽培のための竹林整備等についての現地研修

■参加費 無料

竹粉による生ゴミ処理モニター

■モニター期間 平成23年1月中旬ごろ～2月末ごろ

■対象者 日田市、玖珠町、九重町在住者

■内容

竹粉による生ゴミ処理試験

■募集数 10人程度(竹粉・箱・移植)を無料で進呈※

※いずれも、12月27日までに左記に申し込みください。

大分県西部振興局森林管理班

☎2585 (大分県日田総合庁舎2階)

■受付日

平成23年1月11日(火)

(土・日曜、祝日を除く)

■利用期間 平成23年4月か

平成23年度 中央公民館

ホールの利用受付開始

■とき

平成23年1月5日(水)

午前9時～正午

天瀬公民館

■相談員 行政相談委員

■相談内容 各官公庁に対する意見・要望や悩みごと等

■無料弁護士相談会

■とき

ら平成24年3月まで
■申込方法 左記窓口で申込み
中央公民館 ☎26868

相談

定例行政相談

無料

■とき・ところ

平成23年1月5日(水)

午前9時～正午

天瀬公民館

■相談員 行政相談委員

■相談内容 各官公庁に対する意見・要望や悩みごと等

■無料弁護士相談会

■とき

平成23年1月12日(水)

午後1時～5時

(相談時間は30分以内)

市役所地下消費生活相談室

■相談員 弁護士

■相談内容 多重債務を始め、消費生活に関する相談

■募集数 8人(先着順)

※事前に電話で申込みが必要。

■予約開始日 12月22日(水)

午前8時30分～

商工労政課消費生活・労働福祉係

☎9393 (市役所6階)

のびのび発達相談(子ども発達相談会)

■とき

平成23年1月14日(金)

受付時間 午前10時～午後2時30分

■ところ ウェルピア

■相談員 作業療法士、保育士、臨床心理士、保健師

■相談内容

・動きが激しい、こだわりが強い、友達とうまく遊べないなど、発達や子どもへのかわり方に関する相談

・指しゃぶりが激しい、発達が遅れているように感じるなどの心理相談

■申込方法

事前に電話で申込み

のびのび発達相談(子ども発達相談会) 無料

相談

■とき

平成23年1月15日(土)

午後1時～3時30分

パトリア日田2階和室

■対象 認知症の方を介護し

三芳公民館

■とき

平成23年1月29日(土)

午後1時～4時

第23回全国マシンローイング大会

陸上で行うボートのマシン

大会が日田市で開催され、水

上でのボートレースと同じように、タイムを競う熱いレースが行われます。

■とき 12月26日(日)

午前9時～正午

■ところ 中城体育館

※当日は、小・中学生を対象に、初心者向けの体験マシンローイング教室を実施。

■問い合わせ 大分県ボート協会(渡辺) / ☎09015136899

■問い合わせ 静修小学校 / ☎2336



経営者100社
モーニングセミナー

経営者だけでなく、どなたでも参加できますので、気軽に参加してください。

■とき

①12月21日(火) ②12月28日(火)

午前6時～7時

■ところ ホテルソシア

■内容・講師

①「明朗愛和く地域社会と共に」 寺田一男氏

②「社員と共に、こころのバネを養う」 矢野雅則氏

■参加費 無料

■問い合わせ 大分県日田市倫理法人会事務局(後藤)

☎8763 (榊シーエツチケイサービス内)

■問い合わせ 静修小学校 / ☎2336



学校へ行こう!
来年3月に閉校する静修小学校で思い出を探しませんか。
■とき 平成23年1月2日(日) 午前11時～午後4時

■ところ 静修小学校

■問い合わせ 静修小学校 / ☎2336

日田市国民健康保険・後期高齢者医療被保険者の皆さん 各種助成を受けることができます

市内に在住している日田市国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者を対象に、次のような助成を行っています。

はり・きゅう・マッサージ等の助成

◇助成回数 1日1回、月5回まで

◇助成額 1回につき900円

※施術を受けた際、助成額（900円）を差し引いた額を自己負担してください。申請は各施術所が行います。

◇申請に必要なもの 被保険者証、印鑑

※市内19か所の施術所が対象です。対象となる施術所については、問い合わせください。

葬祭費の助成

日田市国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者が亡くなった場合、葬儀を行った方（喪主）に葬祭費が支給されます。

◇助成額 国民健康保険被保険者 35,000円 後期高齢者医療被保険者 15,000円

※後期高齢者医療被保険者は、このほかに大分県後期高齢者医療広域連合から20,000円の助成を受けることができます。

◇申請に必要なもの 被保険者証、印鑑、会葬礼状、申請者（喪主）名義の口座番号

【問い合わせ】社会保険課国保・年金係 ☎22-8271（市役所1階）

有料老人ホームの区分はご存知ですか

有料老人ホーム（民間事業者との契約に基づき、全額自己負担によって食事などのサービスを利用しながら生活する施設）は、次の3つのタイプに区分されます。

高齢者向けの入居施設への入居を考えている方で、有料老人ホームへの入居を検討している方は、各施設に申し込む前に、必ず入居時の要件等を確認してください。

※各施設で、入居時の要件や料金等が異なります。施設を見学するなど、十分な説明を受けてください。

区分	入居時の要件	自立タイプ	混合タイプ	介護専用タイプ
		元気な方のみ	元気な方及び 介護が必要な方	介護が必要な方 のみ
<介護付き有料老人ホーム> ・食事や介護サービスが付いた施設 ・介護が必要な場合、介護サービスを提供		○	○	○
<住宅型有料老人ホーム> ・食事等のサービスが付いた施設 ・介護が必要な場合、訪問介護等の在宅サービスを利用		○	○	×
<健康型有料老人ホーム> ・食事等のサービスが付いた施設 ・介護が必要な場合、退去することが前提		○	×	×

【問い合わせ】社会保険課介護保険係 ☎22-8264（市役所1階）

1月の健康チェック

項目	とき(受付時間)	会場	対象	内容・持参するもの・その他
母子健康手帳交付	7日・21日 28日 (9:00~16:00)	ウェルピア1階	妊婦 (妊娠届出書をお持ちの方)	◇内容：母子健康手帳の交付、使い方や妊娠中の健康管理(保健師)などの説明 ◇持参するもの：妊娠届出書 ※左記の交付日に来られない方は、交付を希望する各窓口事前に電話で予約して、お越しください。
	各振興局窓口 (予約制)	各振興局内の会議室又は窓口		
4か月児健康診査	13日(休) (13:00~13:30)	市役所7階 大会議室	平成22年8月20日 ~9月19日生まれ	◇内容：身体計測、内科・整形外科診察、離乳食の相談、保健相談 ◇持参するもの：母子健康手帳
7か月児健康診査	12日(休) (13:00~13:30)	市役所7階 大会議室	平成22年 6月生まれ	◇内容：身体計測、内科診察、離乳食の相談、保健相談、歯磨きの指導、絵本の読み聞かせ ◇持参するもの：母子健康手帳

1歳6か月児健康診査	14日(金) (13:00~13:30)	天瀬公民館 東溪分館	平成21年 5月~6月生まれ	◇内容：身体計測、内科・歯科診察、歯や歯磨きの相談、栄養相談、保健相談 ◇持参するもの：問診票、母子健康手帳、1歳6か月児健診の方は幼児用歯ブラシ ※歯を磨いてきてください。 ※事前に封書で個別に通知します。平成23年1月5日までに通知のない方は、受診する地域の振興局・市役所等に連絡してください。
	18日(火) (13:00~13:30)	市役所7階 大会議室	平成21年 6月生まれ	
	20日(休) (13:30~14:00)	大山 保健センター	平成21年 5月~6月生まれ	
3歳児健康診査	14日(金) (13:00~13:30)	天瀬公民館 東溪分館	平成19年 8月~9月生まれ	◇内容：身体計測、保健相談 ◇持参するもの：母子健康手帳 ※中央児童館、天瀬児童館、大山保健センター、前津江保健センター、すぎっ子保育園では、1月はいりません。
	19日(休) (13:00~13:30)	市役所7階 大会議室	平成19年 9月生まれ	
	20日(休) (13:30~14:00)	大山 保健センター	平成19年 8月~9月生まれ	
乳幼児健康相談 (すくすく相談)	27日(休) (10:00~11:00)	なかつえ 保育園	未就学児	◇内容：口腔チェック、フッ素塗布、ブラッシング指導 ◇料金：無料 ◇募集数：40人(先着順) ◇申込方法：大分県西部保健所(☎23-3133)に電話で申込み
2歳6か月児歯科相談 (フッ素塗布)	6日(休) (12:30~13:00)	大分県日田 総合庁舎 4階大会議室	平成20年 2月~ 7月生まれ	

※それぞれの健診は、どの会場でも受けられますので、いずれかの会場で一度受けてください。
※その他の乳幼児健康相談は、成人健康相談と同時実施です。詳細は下記を参照してください。

項目	とき(受付時間)	会場	内容・持参するもの・その他
女性専用健康相談	要予約制	ウェルピア1階	◇内容：女性特有の健康上の悩みなどに関する相談 ◇申込方法：電話で地域保健課健康支援係に予約
市内全域 成人健康相談	20日(休) (9:00~11:00)	ウェルピア1階	〈成人健康相談〉 ◇内容：血圧測定、検尿、体脂肪率測定、生活習慣病などに関する相談 ◇持参するもの：健康手帳、健診を受けた方は健診結果(妊産婦・乳幼児健康相談) ◇内容：身体計測、発育・発達や育児の悩みなどの相談 ◇持参するもの：母子健康手帳
五和地区 成人・乳幼児健康相談	6日(休) (9:30~11:30)	五和公民館	
西有田地区 成人健康相談	28日(金) (9:30~11:00)	西有田公民館	

※前津江、中津江、上津江、大山、鎌手、馬原、五馬、中川、小野、東有田、夜明地区での成人健康相談は、自治会を通じてお知らせします。健康手帳・健診結果をお持ちになって、是非、お越しください。

【問い合わせ】 地域保健課健康支援係(ウェルピア1階) ☎24-3000 天瀬振興局市民福祉課 ☎57-8204
 大山振興局市民福祉課 ☎52-3101 前津江振興局市民福祉課 ☎53-2111
 中津江振興局市民福祉課 ☎54-3111 上津江振興局市民福祉課 ☎55-2011

スイス⑤

今号から、坂本奈保子さんのスイスからのお便りをお送りします。坂本さんのお便りは、以前にもこのコーナーで紹介していて、今回が5回目となります。

スイスからこんにちは。もうすぐクリスマスですね。今回は、スイスのクリスマスについてお話します。

クリスマスといえば、ケーキ、パーティー、商店街のジングルベルのけん騒（寿通りの福引好きでした）、ワクワクすることばかりですよね。だから、スイスでの初めてのクリスマスはどんなに楽しいかと大興奮。

ですが、こちらのクリスマスはとても静か。考えてみれば、宗教だから当たり前ですが、キリストの生誕を家族だけで厳かにお祝いします。

ごちそうと朝のうちに飾り付けた本物のモミの木、キリストが生まれた馬小屋に聖人3人が祝福に訪れるというお話のミニチュア、モミの木の下にはプレゼント。スイスの子どもたちへのクリスマスプレゼントは、親や親戚、いわゆる実在する人からであって、サンタさんからはありません。スイスにはサンタは来ないの？

いえいえ、来ますよ。スイスのサンタは、毎年12月6日に深い森の中から子どもたちに会うためにやってきます。6日はサンタの歓迎パレードが各地で行われ、子どもたちが手作りの灯ろうをともし、魔よけのむちを打ち鳴らし、幸福を呼ぶカウベルを鳴らしてサンタを先頭に行進します。それから数日間、サンタは、汚れん坊（真つ黒でこわいナマハゲもどき）と天使と共に一軒一軒、子どものいる家に、木の実とみかんとお菓子の入った麻袋を背負って訪れます。



実はこれ、親が事前にサンタに手紙を出し、子どもについていろいろな情報を知らせておくんです。それを知らない子どもたちは、サンタが家に来たことを喜んだ上に、自分のことをよく知っているものだから大仰天。日ごろから言うことを聞かない子も、しばらくはサンタの言い付けを守って良い子です。けど、長く続かないことは言うまでもなく、こればかりは世界共通ですね。

ロウとジエンの国際交流のスヌメ

今号のコラムは、ロウが担当します。



日本に来たときから、私は本で読んだ日本の名所を観光したいと思っていました。最近機会があり、私は期待を持って旅行を始めました。

海が大好きなので、フェリーで瀬戸内海を通り、関西に向かいました。途中で瀬戸内海の空を飛んでいるカモメと両岸の連山が目に入り、それは自然の景色が描かれた美しい絵のようでした。

神戸港で阪神・淡路大地震で破壊された古い港の跡を見たとき、大自然の力を感じたと同時に、神戸の人が過去の自然災害を忘れず、ふるさとを再建していく思いを一層深く感じました。

奈良では、東大寺に行く途中、鹿が観光客と親密に触れ合っていました。鹿は、ちっとも人を恐れず友達のように、人と動物が仲良くして、それがとても自然な感じがしました。

東京で明治神宮に行くと、木々が道を覆うようにこんもりと茂っていて、晴れた昼間でも道端に街灯がついていました。鳥は、茂つ

た林の中を飛んだり人の目の前で止まったりしてえさを探し、この大都市の中でのんびり暮らしていました。

そして日田に戻ってくると、山水や田んぼなど、大自然の息吹がみなぎっていました。日本は至る所で、自然の懐に抱かれているようだと思いました。

日本を見物する途中、人と自然が解け合い、触れ合うことを深く感じました。それは私の心をゆったりとさせ、良い気持ちになりました。

中国が経済成長と同時に一定の自然破壊をもたらすことを考えると、日本での経験を持ち帰って、中国に環境保護意識を強くさせ、私たちの生存している地球を大切にさせ、日本のように自然保護できれいな国になればいいなと思っています。



師走の
陽ざし

釈迦岳から雲仙普賢岳を望む

日田市長 佐藤 陽一



日田盆地を取り巻く山々が気になり、五条殿に登り、後日、一尺八寸山、月出山岳にも行きました。頂上付近まで車で行けるので登ったというより行ったという言葉がふさわしいわけ

ですが、一尺八寸山の頂上は、木々に囲まれ何も見えず、月出山岳は、盆地の東部は望めますが、残念ながらここも木々の間から少し見えるという状況でした。昔は放牧や草切りで山を使っていたから、眺めも良かったとのこと。盆地の底から見れば形の良い山容ですが、時代の流れを感じました。

夜明の三日月山から見た筑後川や平野の眺めも素晴らしいものがありますが、市内で、ここは絶対の眺望というところは、釈迦岳ではないかと思えます。頂上近くに国土交通省の観測塔があり、そこからの眺めは360度、北には英彦山、八面山、見下ろせば五条殿、その先には日田盆地、東に久住山の全容、

テーブル型の万年山の奥に由布岳、南は遠くに祖母山、傾山、近くに酒呑童子山、その向こうに雄大な阿蘇の五岳、西は、筑後平野とかなたには佐賀平野、更に雲仙普賢岳が望めます。話では、望遠鏡で見ると福岡ドームが見えるそうです。ただ、釈迦岳からこのような眺望が楽しめるのは天気次第です。

先日、前津江振興局で仕事をしているとき、今日は、という日があり行きました。地平線に雲がかかり、有明海などの海は見えなかったのですが、北部九州一円が一目です。普賢岳も見えます。感嘆の声と共に、爽快な気分になりました。



雲間から見える山が雲仙普賢岳(写真奥)



考えよう！人権

心豊かな共生社会の
実現を目指して

心のバリアフリーを進めましょう

障がいのある人を特別視するのではなく、一般社会の中で当たり前の生活を送れるような条件を整えるべきであり、共に生きる社会こそノーマルな社会であるという考え方を、ノーマライゼーションといいます。

ノーマライゼーションは、広く普及していかなければならない理念ですが、それを妨げるものに次の4つのバリア（障壁）があるといわれています。

- ① 物理的バリア 歩道の段差、乗降口や出入口の段差など
- ② 制度的バリア 資格や免許を取得する際の障がい理由とする欠格条項など
- ③ 文化・情報面のバリア 音声案内、点字、手話通訳、文字放送などの欠如や不足など
- ④ 意識上のバリア（心のバリア） 私たちの意識の中にある障がいのある人に対する無理解、無関心による偏見や差別など

物理的、制度的、文化・情報面のバリアに対しては、様々なバリアフリーの取組が進められています。重要なのは心のバリアフリーです。

例えば、障がいのある人が、スポーツ・芸術などで活躍する姿を見て、「障がいがあるのにすごいなあ」と感心したり、日常生活の中で障がいのある人を見掛けたとき、「かわいそう」「障がいがあるのに頑張っているなあ」と思ったりすることはありませんか。

相手の努力を認め、いたわる気持ちは大切ですが、その感情の裏には、障がいのある人を特別視する意識があるのではないのでしょうか。そのような意識が、障がいのある人の自立や社会参加の大きなバリアとなっています。

障がいのある人は、特別な存在ではありません。もちろん、かわいそうな存在でもなければ、頑張らなければならぬ存在でもありません。障がいはその人の個性としてとらえ、特別視せずにお互いを尊重し自然な付き合いを深めていくことが大切です。

ノーマライゼーションの実現に向けて、心のバリアフリーを進めましょう。

【問い合わせ】 人権啓発センター
☎ 28017 (市役所別館1階)

第64回日田市文教祭「文芸の集い」俳句大会 小学生・中学生・高校生の部

※最優秀賞のみ掲載

小学校低学年の部



青空がうんどう会を見ているよ

日隈小学校2年 千原徳太

【句評】高い澄み切った秋の青空が私たちみんなの運動会をしっかりと見えています。

さあ、みんなで一生懸命に頑張ろう…という気持ちがとてもよく伝わってきます。

小学校中学年の部



虫捕りにペダルこぐ足力入る

高瀬小学校4年 高瀬 宙

【句評】虫捕りに自転車を一生懸命にこいでいる様子が、絵のようによく分かり、「虫を絶対見つけるぞ」と思う心まで見えてくる句です。きっとクワガタやカブト虫があなたを待って、かくれんぼしていることでしょう。

小学校高学年の部



きりの中ゆっくり歩く登校班

若宮小学校5年 未延 歩

【句評】登校時間、遊んだりふざけたりしている下級生を、なだめたり注意したりして急がせている上級生。上級生としての自覚や優しさ、情景が目に見えてきます。すっきりとした分かりやすい良い句だと思います。

中学校の部



赤とんぼみな母探すごとくゆく

三隈中学校2年 江田彩乃

【句評】赤とんぼの叙情と母恋しい思いが17文字に詠まれ見事だと思います。とんぼの群れに寄せる作者の優しい眼差しが見えるようで、大変共感しました。

高等学校の部



栗をむく祖母の隣で昼寝かな

昭和学園高校3年 吉武彩乃

【句評】三世同居の仲の良い家族、ふだん着で栗をむくおばあちゃん、学校から帰って安心して寝入る作者には、毛布がさりげなく掛けられているのでしょうか。そんな生活ぶりがよく表現されています。かなの使い方が効果的です。

【問い合わせ】文化振興課事業推進係 ☎25-5000 (パトリア日市内)

ふるさとのちよつとよいとこ再発見 49

一尺八寸山
みおうやま



日 田盆地をとりまく山の中には、シシやシカなどたくさんいる村には、よそのむらよりたくさん山のけものが住んでいて、野山を駆けめぐり近くの山から出てきたイノシシは、田んぼや畑を荒らしまわるので、村人たちはすっかり困ってしまっただ。

そこである日、殿さまはシシ狩りをするに、家来たちを大人敷引きつれ、けものたちの住んでいる山をいく重にも取り巻き、ホラ貝を吹くやら、鐘や太鼓を打ち鳴らすやら、ときの声を上げるやら、それはもう、静かな山は時ならぬ騒ぎになった。

やがて、シシ狩りの騒ぎもおさまり、しとめた獲物は、ウサギやシカ、イノシシ、山どりど、それは見事なものばかりだった。

その中でも、ひとときわ人目をひく大イノシシ3頭を、本陣にあてられた庄屋さまの庭先によこたえ、酒をくみかわしながらの皆の手柄話は、今日1番の大物だった3頭のイノシシのことになった。

殿さまの言いつけで、3頭のイノシシのシツポを切り取り、つなぎ合わせて計ってみると、長さが「二尺八寸(約68センチ)」もあった。それからというものの、村の人たちは、3頭の大イノシシのいた山のことを「一尺八寸山」とかいて「三尾山(みのおやま)」つまり「みおやま」とよぶようになったということだ。

(豊後日田の昔ばなし)より

※一尺八寸山の名前の正式な呼び方は「みおうやま」です。また、由来は、このほかにも諸説あるといわれています。

【問い合わせ】広報室 ☎22-8627 (市役所6階)